東浦

サンギョウ魅力人

ー東浦町の産業を支えるミリョクビトたちー

第44回 東浦町産業まつり(2022年11/12・13開催)サテライト会場(イオンモール東浦)での特別展「東浦サンギョウ魅力人」での展示を冊子にまとめました。
「東浦町で働く人」を通じて東浦町の産業の魅力を知ってください!

【掲載企業等】

(株)愛知商会/(株名古屋精密金型/カリモク家具株)/平林シート(株)/株)関建築/(株)豊田自動織機 (株)岡島パイプ製作所/戸田工業株/メモリー(株)/株)アイキテック/トーエイ株/水仲工業株 (株)ナカセ農園/切り花農家 戸田陽久/春香園/石田農園/(旬あぐりサービス/林ぶどう園





さまざまなモノを 包んで守る高性能 フィルム袋メーカー

愛知商会は、さまざまなものを入れる「袋」をつくる会社です。といっても紙や布製ではなく、高い気密性をもつフィルム製の袋類。たとえば、みなさんのお家にあるお米やのり、お茶などの食品、液体洗剤などのパッケージ、医薬品の保存袋、非常時やキャンプで使う給水袋などです。また、お米の保存袋「米びついらず」という当社オリジナル商品など業界トップの商品もたくさんあるんですよ。私の仕事は、工場での生産管理とできあがった製品の検査。当社でしかつくれない高い性能を持つ袋を世

に送り出すことに、大きなやりがいを感じます。私がこの会社を選んだのは、つねに将来を見つめて仕事に取り組む「未来志向」の会社だから。これからも独自の技術で未来の社会の役に立ちたいと思います。



▶業 種:製造業

◆主力製品:フィルム製袋類、密閉チャック袋

◆設 立:1976年7月3日

◆住 所:東浦町森岡上源吾36番地の14

実は、こんなにすごいんです!

一見、同じような袋でも、中に入れるものによって機能がことなります。例えば、食べ物の保存袋なら劣化の原因になる酵素を通さないように、医薬品を入れるならウイルスやばい菌が付かないように。袋の中身をしっかり守る高い技術が、私たちにはあります。



会社の自慢を教えて!

製品の高い品質を守るため、少しの狂いも見逃さないように何度も何度も検査をします。そこで力を発揮するのは、機械じゃなくて人。まじめに自分の仕事をして高いレベルのモノづくりをささえる、社員一人ひとりがすごいんです。



東浦は、はたらきやすい町?



豊かな自然を守りながら、発展している町。工業や農業など、さまざまな産業が共存しているところがいいですね。



先輩からキミへ



働くことは、社会の役に立つこと。自分の役割にほこりを持ち、家族や友だちに胸を張って「これが自分の仕事です」と言える職業についてほしいと思います。



工業製品の 全 生みの親、 全型の専門メーカー

テレビ、スマートフォン、自動車など、みなさんの身の回りにある工業製品は、みんな同じカタチをしていますよね?そのキーワードは「金型」。同じカタチをたくさんつくるための道具です。名古屋精密金型は金型の専門メーカー。約50年にわたり、時代の流れに合わせてさまざまなモノづくりをささえる金型をつくってきました。まず3Dの設計図をつくり、加工用のデータを作成。それをもとに金属の材料を機械でけずり、職人がピカピカにみがいて仕上げる。金型はこのようにつくられますが、当社が

得意とするのは自動車ランプ用金型で、国内のおもなランプメーカー3社すべてと取引しています。みなさんのお父さんやお母さんが乗っているクルマのランプも、当社の金型をもとにつくられたものかもしれませんね。



業種:製造業

◆おもな事業:プラスチック成形用金型の設計・製造

◆創 業:1975年

◆住 所:東浦町大字緒川字北鶴根66-5

マメ知識、教えます!



たい焼きづくりをイメージしてみてください。魚の カタチをした鉄の型に、小麦粉を水でといたタネを 流し入れ焼き上げると、同じカタチのたい焼きが何 個もできますよね?金型を使ったモノづくりも、同 じです。凸凹の型を組み合わせ、その間にとけたプ ラスチックを流し込んで冷やし固めて取り出す。こ の方法で、同じものを大量に作り出します。



私のモットー



入社したばかりの私は「できる技術営業」を目指し、 ただいま仕上げ係で研修中ですが、わからないこと もたくさん。そんな時は先輩に聞いて、すぐにおぼえ るようにしています。専門用語などを書きとめたオ リジナルのノートも作っているんですよ。



東浦は、はたらきやすい町?



当社は金型製造、特に自動車ランプ用金型でたしか な実績を持つ会社なので、東浦は一流の技術者が集まる町だと思います。自然にかこまれ、通勤もしや すく、くらしも仕事も快適に楽しめる場所ですよ。





先輩からキミへ



元気にあいさつすること、素直にあやまること、仲間と助け合うこと。日々、学校生活で学んでいることは、将来、仕事をするようになって必ず役に立つはず。それを忘れないでください。



木の家具を通して より良いくらし、 社会をささえる

カリモク家具は、テーブルやイス、ソファなどをつくる会 社。70年以上前にスタートし、1960年代から日本人の くらしや体に合う木の家具を手がけています。また、積 極的に国産の低利用材も使って製品づくりをするなど、 サステナブルな取り組みもおこなってきました。東浦地 区には家具をつくる工場が5つあり、私がはたらく総張 工場では、おもにソファやマットレスを製造しています。 「総張」とは、布や皮でくるまれたソファのこと。設計を担 当する私は、デザイナーや生産現場の担当者と相談しな

がら、どんなソファをつくるか、 どんなつくりにするかなどを決 めて、設計図を作成します。自分 がかかわった家具がカタログや ホームページでたくさんの人の目 にふれ実際に使ってもらえるの は、とてもうれしいことです。





種:メーカー

▶おもな事業:家具・インテリアの製造・販売

設 立: 1947年

所:(総張工場)

東浦町大字緒川字申新田弐区40番地3

私のモットー

たとえばアーティストなら、時間もお金も好きなだ けかけて、自分がつくりたいものをつくると思いま す。でも私たちの仕事は、たくさんの人に使ってもら えるものをつくること。デザイナーの意図をくみな がら、みなさんに愛される家具にしあげるようモノ づくりを進めます。



実は、こんなにすごいんです!



当社には、レーザーを使って木に文字やイラストを 描くことができるレーザー加工機があります。ミク ロン単位の調整が必要など、あつかいがむずかしい けれど、シャープで小さな文字も表現することがで きます。



東浦は、はたらきやすい町?



古い町並みやお祭りなど、歴史ある文化があちこち に残っている、すてきな町だと思います。当社で働く 木製家具のプロもたくさんいて、ベテランの方から多 くを学んで成長につなげています。



先輩からキミ



私はもともと木工に興味が あって、この会社に入りまし た。毎日、木工の職人さんたち の技を目にしながら働けてし あわせです。最近は、自分が 手がけたベンチをカフェの店 内で見かけて感動しました。 好きなことを仕事にすると、 毎日が楽しいよ!



テントやシートで 空間の可能性を ひろげる

平林シートが手がける製品はテント。工業用から商業 用、住宅用、イベント用と、さまざまな場面で使われるテ ントの設計・製造から販売、施工までおこなっています。 たとえば、みなさんの学校の運動会などで、三角屋根に 白いビニールシートが張られた大きなテントが設置され ているのを見たことがあると思います。あれも、平林 シートがつくるたくさんの製品のひとつです。ほかにも、 シャッターやビニールカーテン、間仕切りシート、看板な どさまざまな製品をつくり、全国のお客さまに届けてい

ます。私のおもな役割は、専務の 秘書。専務と社内スタッフの橋わ たしや、できあがった製品の チェックなどをおこないます。私 が図面を書くこともあり、縫製担 当者とやりとりしながらモノづ くりの楽しさを味わっています。



種:メーカー

▶おもな事業:テント倉庫、荷さばきテント、工場内 間仕切り等の設計・施工

◆設 立: 1980年5月20日

所:東浦町大字緒川字下汐田18-1

仕事のたのしさ



CADで展開図を作成する作業が好き。布やシート をぬって製品をつくっていく縫製担当の人の意見を 聞きながら、より正確な図面にしあげるのは、大変 だけど楽しいです。



マメ知識、教えます



テントやシートに使われる生地はさまざまで、用途 によってぴったりのものを選ばなければなりませ ん。また、ハトメやロープなどの部材にも種類や特 性があり、私も勉強中です。



東浦は、はたらきやすい町?



東浦の人たちは、やさしい人ばかり。会社の仲間も新 人の私をあたたかく見守りながら、さまざまな挑戦 をさせてくれます。ひっこしてきたばかりですが、買 い物やネイルを楽しむなど、この町でのくらしを満 喫しています。



先輩からキミへ



仕事といっても、今のみなさ んにはピンとこないかもしれ ません。でも、まわりを見わた してみてください。たとえば スーパーや歯医者さんなど、 みなさんがいつも出かける場 所にも働く人がたくさんいる はず。その人たちが何をして いるのか観察してみると、好 きなことややりたいことが見 つかるかもしれませんよ。



こだわりの 注文住宅を 大切に建てる職人集団

関建築は、創業以来52年にわたり、東浦を中心とした知多半島地域で家づくりをしてきました。木造建築にこだわり、得意とするのは注文住宅。お客さまの思いがつまった家を一軒一軒ていねいに建てていくのは、高い技術を持った大工たちです。伝統的な道具を使いこなし、昔ながらの職人技を持つ大工が集まる当社のような会社は、今ではとてもめずらしい存在。私はこの道20年の大工ですが、またまた一人前とは言えません。関建築には、40年以上の経験を持つベテラン職人もいますから。

ただ、伝統を守り続けているだけではありません。時代の変化に合わせ柔軟に対応して、お客様の想いにより添いながらも新しい提案をすることで、地元で愛される会社としてさらに成長を続けています。



業 種:建築業

◆おもな事業:個人注文住宅の建築請負業、店舗および

営繕工事、福祉施設等の建設

◆創 業:1970年

◆住 所:東浦町大字石浜字午池111-1

実は、こんなにすごいんです!



関建築には営業担当者がいません。職人の仕事ぶり やできあがった家の質の高さが評判になって、売り 込みをしなくても新しい仕事が入ってきます。大工 一人ひとりが、わが社のトップセールスなんです。



仕事はこうしておぼえました!



自分の家を自分で建てられるようになったら一人前。 大工の世界では、こう言われています。関建築では 「学び・育ち・教える」というサイクルがうまく回って いて、先輩のすることを見て仕事をおぼえ、それを後 輩に教えてたしかなものにします。そうやって成長し ながら、私も32歳の時に自分の家を建てました。



会社のターニングポイント



先代の社長は職人かたぎの人で、大工たちといっしょに現場ではたちいていました。30年ほど前に代がわりすると、社長は設計や管理を担当し、より広い視野でより良い家づくりを考えるようになりました。さちに今では、会社やお店の建物など住宅以外の建築物も手がけています。



|*

先輩からキミへ



どんな仕事にもやりがいがあるし、そのぶん責任もあります。自分の好きなこと、楽しめることを探して、仕事にしましょう。そして、たとえ失敗しても、まわりの人に助けてもらえるような人になりましょう。



電動車用の車載電池 づくりでSDGsな カーライフをリード

豊田自動織機は、100年近い歴史を持つモノづくりの会社です。繊維機械を原点にフォークリフトや自動車部品など製造品目を広げ、現在では4つの世界販売シェアNo.1製品を持ち世界40か国以上にさまざまな事業を展開する企業になりました。東浦の石浜工場は、今年できた新しい工場。10月からハイブリット車用ハイポーラ型ニッケル水素電池の生産を始めました。長くてむずかしい名前ですが、つまり自動車の動力になる電池のこと。トヨタ自動車といっしょに開発した製品で、トヨタ

「アクア」に電動車の駆動用車載電池として世界で初めて採用されました。私も開発にかかわったんですよ。今の私の役割は、工場での生産を管理すること。毎月の目標生産数を達成するため、チームワークを大切に日々の仕事につとめています。



◆業

種:製造業、物流業

◆おもな事業:繊維機械、自動車部品、産業車両、 エレクトロニクス製品等の研究・開発:

製造・販売および物流事業等

◆設 立:1926年11月

▶住 所:(石浜工場)東浦町石浜願並1-1

ここが大変



今、石浜工場で生産している製品は、開発に10年以上の時間をついやしています。2~3年でできるたろうと思っていましたが、大まちがい。材料の開発、試作品づくり、検査、修正…と、たくさんの工程をへてやっと完成させました。



実は、こんなにすごいんです!



バイポーラ型ニッケル水素電池は、今までのニッケル水素電池より小型でパワーが強いのが特徴。電池を安定供給することで、カーボンニュートラルに向けた電動車の普及に貢献していきます。



すごし!

東浦は、はたらきやすい町?



私は東浦生まれの東浦育ち。長くすごして、とても住みやすい町だと実感しています。私が働く石浜工場はとても広く、自慢は食堂。「どんぶりフェア」「ラーメンフェア」など特別メニューの日もあり、みんなの元気をささえてくれています。





先輩からキミへ



誰もが働きやすい環境をとと のえている当社では、女性、 い人、機械好き、スポストイン 験者など、さまざまな学生へがあ なさんは、しっかりりるいしな しっかり運動したいこのと にしてやりたいこと 見つけたら、積極的に挑戦してください。



▲ 直径4.0mmから↓ 25.4mmまで細い パイプの専門メーカー

みなさんはパイプを見たことがありますか?たとえばガス管や水道管など、身の回りにいろんなパイプがあると思います。岡島パイプ製作所は、直径4.0mmから25.4mmという、とても細いパイプを専門につくっているメーカーです。80年前、自転車用の「溶接鋼管」というパイプを手がけたのをはじめとし、今では自動車、ガス機器、給湯器など、くらしに欠かせないさまざまな製品に使われるパイプをつくっています。私の仕事は、製造ラインのオペレーター。機械の操作や品質検査、トラブ

ルの発見とその解決を通して、当社にしかできない製品づくりを現場でささえています。私たちがつくるパイプは「BRITEN TUBE(輝く鋼管)」というブランド名で知られ、1年間に生産する長さはおよそ12万km、地球約3周分にもおよぶんですよ。



◆業

種:製造業

普通鋼鋼管、表面処理鋼管、特殊鋼鋼管

東浦町大字緒川字葭狭間1-5

仕事のたのしさ



やりがいを感じるのは、できあがった製品の検査。 パイプは、その材料によってクセがあるため、それ それの性質をよく理解したうえで、キズがないか、 曲がっていないかなど、自分の目できびしくチェックします。集中力や忍耐力が求められる仕事です。



会社の自慢を教えて!



昨年、東浦の第3工場を増設した時に、新しく「福利厚生棟」という建物をつくりました。震度6の地震にも耐えられる設計で、食料、簡易トイレ、簡易テントなども準備。災害時には地域の人たちにも開放する予定です。

東浦は、はたらきやすい町?



豊かな自然にかこまれたのびやかなエリアでありながら、高速道路へのアクセスもよく、いろんな場所に行きやすい地域。くらしにも仕事にも便利な環境だと思います。



先輩からキミへ



私たちがつくっている製品は、目立たないけれど、実にいろいろなところに使われています。みんなのくらしに欠かせないものをつくっている。そんな思いを大切に、先輩たちも新しい技術に挑み続けてきました。80年にわたってつみあげてきた知識や技術を、若い人たちに引き継いでいけたらいいなど思っています。



モノづくり企業が 信頼する溶接の プロフェッショナル

溶接の技術集団。それが私たち戸田工業です。創業以来 50年以上にわたり、大型部品の高精度溶接、組み立てを おこなってきました。溶接とは、金属と金属を加熱して 溶かすことで一体化させる加工のこと。金属を使ったモ ノづくりには欠かせない工程です。当社では、大きなタ ンクや鉄骨などの部材から工場で使われる産業機械や 生産設備まで、お客様のニーズに合わせて加工や組み立 てをおこないます。私は、金属の切断や溶接をおこなう 技術者・製缶工。図面を見ながら作業の手順を自分で考

え溶接し、プラモデルのように モノをつくりあげていくのは、と ても楽しい仕事です。うまい人 が溶接すると、なめらかで見た 目も美しいんです。ふだんから、 金属製品を目にすると溶接部分 をじっくり見てしまいます。



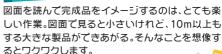
種: 製缶業

おもな事業:各種産業機械、省力機械の部分品製造

業: 1971年5月

◆ 住 所:東浦町大字緒川字市右原5番地の1

仕事のたのしさ





会社の自慢を教えて! チュ゙レィ/

昨年、新工場が完成しました。約2,000坪の建物は リフトが通れる広さ。作業もしやすく、完成品や材 料の保管スペースも十分あります。また、私たち技術 者が使う溶接機は120台以上! たくさんの人が同時 に作業できるようになりました。



東浦は、はたらきやすい町?

町と自然が共存していて、とてもいい環境だと思いま す。職場と家が近く、仕事もプライベートも快適です。



先輩からキミグ



好きなこと、楽しいと思える ことを子どものうちに目いっ ぱい感じて「好き」を仕事にし てください。私は絵を描くの が好きだったし、職場の仲間 たちもプラモデルづくりが好 きだったり、図工や技術科目 が得意だった人がたくさんい ます。



みんなが気づかない 新しい価値を発見し カタチにする

のお困りごとを解決する会社です。特に、ブランディン グといって会社や商品を世の中に広め、さらにその価値 を高めるためのお手伝いを得意としています。また、私 たち自身も自社でブランドを持っています。「プレイ アーデン」というペット関連商品のブランドで、オーガ ニック食材やパッケージデザインにこだわったペット フードを生産・販売。海外にも販路をひろげ、世界的なブ ランドをめざしているのです。さらに、この経験をペッ

トショップなどのブランディン グ、プロデュースにもつなげてい ます。そこで大切なのは、みんな が気づいていない新しい価値を 見つけてカタチにすること。とて も難しいけれど、挑戦しがいの ある仕事です。



種:専門コンサルティング、商社 ◆おもな事業:ビジネスソリューション事業(DX・CX のコンサルティング、企業のマーケティ ブランディングの企画など)、ライ ペット用品の企画・販売・製造・輸入・ 輸出など)、HRソリューション事業

1998年12月3日

所:(R&Dセンター)東浦町森岡新池下10-

新しい挑戦



とにかくチャレンジ精神にあふれた会社。プレイ アーデンのペットフードに身近な食材をプラスする アレンジレシピを考案するなど、新たな展開を次々 に考えカタチにしています。



私のターニ



ずばり、メモリーに入社したこと。失敗しても「仕事 で取りもどそう!」というポジティブな社風のもと、 私自身も前向きで強い人になれたと思います。



会社の自慢を教えて



社員がみんなやさしい人ばかり。関東、北陸、関西など 全国から集まった人たちが、個性を生かしながら元気 に働いています。いろんな地方の言葉がとびかって、 「まるで海外みたい」と言われることもありますよ。



先輩からキミへ



「ガレージから始まった世界 的企業」になるのが私たちの ビジョンです。最初は小さな お店からスタートし、今では 世界中の企業から「メモリー と仕事がしたい」と言ってい ただけるようになってきまし た。これからは、みなさんと一 緒に東浦の魅力を世界に向 けて発信していけたらと思っ ています。



◇ 東浦発、※ 自動車部品のグローバル企業

アイキテックは、自動車部品メーカー。おもに、自動車のエンジンで生み出したエネルギーをタイヤに伝える時に必要な「トランスミッション」という重要な部品に使われるギヤ(歯車)を製造しています。鍛造(金属をたたいて圧力を加えてめざすカタチをつくり出す技術)をはじめ金属加工にかかわるすべての技術を持ち、鉄のかたまりから完成まで全工程を自社で一貫できるのが強み。日本の大手自動車メーカーはもちろん海外の多くの自動車メーカーとも直接取引しているグローバル企業で

す。私は、技能職として「切削」という工程にたずさわっています。 やりがいを感じるのは、自分たちが作った部品を乗せた自動車を町で見かけたとき。また入社2年目で大変なこともありますが、「がんばろう!」と思えます。



▶業 種:製造業(自動車用トランスミッション及び

エンジン部品の製造・販売)

◆主力製品:四輪エンジン·トランスミッション部品、

二輪トランスミッション部品、

・ 汎用エンジン部品 ◆設 立:1956年1月7日

◆住 所:東浦町大字森岡字栄東1-1

実は、こんなにすごいんです!



クルマは何人もの人が乗れる大きな乗り物ですが、 そこに使われている部品は髪の毛1本の太さよりも さらに細かい精度で作られています。私たちは、と てもせんさいでちみつな作業をしているんですよ。



この仕事に向いているのは、 どんな人?



モノづくりや機械をさわるのが好きな人。また、コ ツコツとひとつの作業をくり返すのが好きな人も向 いていると思います。





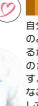
東浦は、はたらきやすい町?



電車でもクルマでもアクセスがよく、通勤にも生活にも便利な場所だと思います。



先輩からキミへ



自分がたずさわった仕事がどのように社会の役に立っているかを想像してみると、働くのが楽しみになると思います。今のうちから自分の好きなこと、やってみたいことを少しずつ探してみてください。



_____リサイクルから農業まで

さまざまな事業でが循環型社会を支える

トーエイ株式会社はたくさんの事業を手がけていますが、ひとことで言うなら"地域とみんなの暮らしをよくする会社"です。創業時から始めた水回りに関する事業、会社の主軸であるリサイクル事業、そして最近、力を入れ始めた営農事業など、取り組みはさまざま。社員たちはみんな、それぞれの仕事によるSDGsへの貢献について考えながら、持続可能で誰もが気持ちよく暮らせる社会づくりをめざしています。私は企画課営農係に所属し、米づくりを担当しています。今、地域では農家の後継者

不足から遊休農地と呼ばれる土地が増えているんです。そこで地元農家さんから相談を受けたのが、当社が農業を始めたきっかけ。私たちは、さまざまな角度から地域の困りごとを解決しています。



◆業 種:再生原料メーカー ◆おもな事業:リサイクル事業、産廃物の収集・運搬、

産廃物処理、メンテナンス事業(浄化槽の点検・清掃)、航空機の製造請負、営農

事業(米・そば) ▶創業: 1961年4月1日

◆住 所:東浦町大字藤江字ヤンチャ28-1

わが社のモットー



今、世界のキーワードはSDGs。循環型社会をつくっていくための目標達成のため、企業や生活者がさまざまな取り組みをしていますよね。それは、トーエイが創業当時から変わらずおこなってきたこと。「暮らしと環境をよくするために、心のこもった技術とサービスでお客さまの役に立つ」。これが会社のモットーです。



会社の自慢を教えて!

地域の景観をよくするため、20年以上、工場の敷地に植樹を続けています。また、「ごみゼロ運動」として藤江地区の清掃活動をおこない、地域のみなさんと交流しています。



実は、こんなにすごいんです!



地域の休耕地をさまざまな事業に有効活用しており、ソーラーパネルによる発電事業にも取り組んでいます。入社前、その事業所を見学して驚きました。環境課題へのアプローチだけでなく、地域に役立つためにさまざまな工夫をしている会社なんです。



先輩からキミへ



農業はおしいちゃん、おばあちゃんの仕事。そんなイメージがあるかもしれません。でも今、農業にたずさわる人がいなくなってしまったら、みなさんは困るはず。私は、知多半島の豊かな自然を守りながら地元の農産物をおいしく食べてもらえる自分の仕事にやりがいを感じています。これから一緒に働いてくれる人が増えたらうれしいです。



東浦から 全国にとどける 地球にやさしい製品

水仲工業は、再生材料を使ってモノづくりをしている会 社です。具体的には、家具の骨組みなどに使われる「芯 材」とよばれる部材を、プラスチックの再生材料を用い て生産しています。オフィスビルや劇場、スタジアムな どの大きな施設から歯医者さんや美容院まで、みなさん も行ったことがある場所で使われているイスの芯材の 多くは、当社が手がけているんですよ。私は専務として 社長のサポートをしながら、会社の経営方針を決めたり 取引先との関係づくりなどに取り組んでいます。この仕

事のやりがいは、私たちが作っ た製品を日本各地でいろいろな 人に使ってもらえること。また、 再生材料をいろいろな製品にす ることで廃棄物を減らし、SDGs に貢献することも私たちの大切 な役割です。



種:製造業(再生プラスチック成形・加工) ▶主力製品:業務用いすのインナー芯材、

住宅用マンホールなど

業: 1968年10月

所:東浦町大字緒川字北赤坂23-1

実は、こんなにすごいんです!



小さな会社ですが、全国のドーム球場や体育館の客 席に使われるイスの部品をたくさん手がけていま す。美容院のイスは日本最大のメーカーに納入。出 かけた先でイスに座ると、自社のものかどうかわか るんですよ。



会社の自慢を教えて!



ペットボトルを粉砕した材料からつくったプラン ターを、リサイクル活動に取り組む学校などに配っ ています。そのプランターを使った花植え体験を教 育に取り入れている学校もあるんですよ。私たちの 取り組みがリサイクルの輪の広がりにつながってい ます。

東浦は、はたらきやすい町?



東浦町は、名古屋方面へも三河方面へも行きやすい ので、これから発展するエリアだと思います。渋滞も 少なく通勤もスムーズで、働きやすい町ですよ。



先輩からキミ/





会社員から農業の道へ ミニトマト 専門農園を開設

私はもともと会社員でしたが、あこがれだった農業の道 に進むことを決め、2005年にミニトマト専門のナカセ 農園をひらきました。こだわっているのは、ミニトマト が健康に育つこと。毎日、自分の目でようすを見て、その 時に必要な量の水と肥料をあたえます。そうして本来の 甘みを十分に引き出されたミニトマトは直売所やネッ トで販売。ロコミでお客さまが増え、予約でしか買えな いことが多い人気商品になりました。トマトづくりの修 行をしながら農地を探し、ようやくいい場所を見つけて

東浦へやってきて20年近く。ナ 力セ農園は、今では知多半島で 最大規模のトマト農園に成長し ました。農産物のよしあしは、育 つ環境と生産者の技術で決まり ます。もっと勉強し、現場でいろ いろ工夫しながらトマトづくり をきわめていきたいです。



おもな生産品目:ミニトマト、ミニトマトを使用した

(ジャム、ケチャップ、ジュース) 業:2005年

所:東浦町大字緒川字昭和一区39

やる気のみなもと



ミニトマト専門の農家だから「トマトが好きなんで しょ?」とよく言われますが、実はそうではありませ ん。でも、だからこそ「トマト好きじゃない人もおいし く食べられるものを、という思いでつくっています。



私のターニングポイント



開業する前、研修先としてたまたま紹介してもらっ たのがミニトマト農家だったので、今があります。 農園をひらいてからも、いろいろな野菜づくりに挑 戦する余裕はなく、ミニトマトひとすじでここまで 来ました。最初にきゅうり農家で勉強していたら、今 ごろきゅうりをつくっていたと思います。





仕事はこうしておぼえました!

たとえば自転車は、自分で乗ってみて、ころんだりし ながら感覚で乗り方をマスターしますよね。農業も同 じかもしれません。教科書でつくり方を学んでも、お いしいトマトはつくれない。自分の手で実際につくり ながら、たくさん失敗をくり返して、おいしいトマト づくりをおぼえました。





先輩からキ

人生において、うまくいくこと より失敗することの方が多い と思います。その失敗を受け入 れて原因を考え、次に生かすこ とが大切。思いどおりにいかな いことがあっても、気持ちをき りかえて次のことを考えられ る人になってください。





代々つづく農家を 守り花ひらかせる 若き経営者

うちは代々、東浦で農家をしていて、私で8代目になるそ うです。トマトやメロンなどいろいろな農産物をつくっ てきましたが、20年ほど前に父が花の栽培を始めたの をきっかけに、切り花専門農家になりました。夏から秋 はケイトウ、冬から春はカーネーション、ストック、菜の 花を栽培・出荷しています。時代の流れに合わせて種類 を少しずつ増やし、大切に育てた花がお店に並んでいる のを見ると、とてもうれしいです。私は、大学を卒業して からこの仕事を始めて10年ほど。今年、父から経営を引

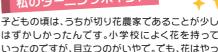
き継ぎました。とはいえ、まだま だ勉強の日々です。父といっしょ に働きながら、花の栽培や経営 について学んでいます。父が新し いことに挑戦して大きくした商 売を、これからも大切に守ってい きたいです。



▶おもな生産品目:切り花(カーネーション、ケイトウ、

ストック、菜の花) 業:創業年不明・先祖代々

所:東浦町大字緒川字唐治屋敷



はずかしかったんです。小学校によく花を持って いったのですが、目立つのがいやで。でも、花はやっ ぱりきれいだし、天気のいい日にとてもいい状態で 咲いているのを見ると、自分もいい気持ちになれま した。それが、今の仕事につながっているのかもし れません。



仕事はこうしておぼえました!

私の先生は、父。子どもの頃からいっしょに畑に 行ったり、時には作業を手伝ったりして、父の背中 を見ながら自然と花の栽培に親しんできました。今 もいっしょに働きながら、肥料のかげんなどこまか い栽培の方法を教わっています。



この仕事に向いているのは、どんなん

空、土、緑が好きな人。そして、人に指示されなくて も、自分で考え行動できる人なら、うまくできると思 いますよ。



先輩からキミク

好きなことが仕事にな れば最高だけど、そう じゃないことも、やっ てみると意外と楽し かったりします。少し 見方を変えると、自分 にふさわしい仕事が見 つかると思います。





東浦ではじめての 食べくらべできる いちご農園

春香園は、東浦町の中でも豊かな緑に囲まれた地域にある、いちご農園です。今から13年ほど前、豊田市出身の私がこの町にうつり住み、いちごの栽培と直売所にくわえ、いちご狩りができる観光農園として開園。春に収穫するいちごにちなみ、「春の香り」という意味の名前をつけました。特色は、食べくらべを楽しんでもらえるように、たくさんの品種のいちごを育てていること。いちご狩り体験のお客さんには、その時期に一番おいしい3種類ほどのいちごを食べくらべてもらいます。知多地域で、食

べくらべができるいちご園を始めたのは、うちが最初だと思います。いちご栽培の楽しみは、毎年、新しい発見があること。その年、その時の気候や空気のにおいを感じ、より良いいちごづくりに生かしています。



◆業 種:農業

◆おもな生産品目:いちご(あきひめ、紅ほっぺ、 おいCベリー、かおり野、

やよいひめ、恋みのり、星の煌き) 劉 業:2009年

◆住 所:東浦町大字緒川字広狭間24

実は、こんなにすごいんです!



知多地域で、食べくらべのできるいちご狩り農園を最初につくったのは、私だと思います。きっかけは、この地域でおもにつくられていた「あきひめ」といういちごの栽培がうまくいかなかったこと。そこでほかの品種を試していたら、7種類ものいちごをつくれるようになりました。



ここが大変!



せっかくお客さんが来てくれても、いちごが足りなかったら、がっかりですよね。収穫できるいちごの量を見こしてお客さんの予約を入れるのですが、そのかげんがむずかしいです。





この仕事に向いているのは、どんな人?

サラリーマン家庭に育ち、農業とは縁のなかった私。 畑でとれた野菜がどうやってスーパーに並ぶのかも 知りませんでした。でも、未知のものへの興味が強く「やってみたい!」という思いから起業しました。

自分がやりたいことと 素直に向き合える人は、 この仕事に向いている んじゃないかな。



**



先輩からキミへ

仕事は、まわりの人の助けがなければできません。それは、会社につとめていても、自営業でも同じこと。自分のまわりにいる人を大切にしてください。



70年かけて、自分の 農園とぶどうの町・ 東浦を育ててきた

72年前からぶどう園をいとなむ石田農園。最初は、デラウェアという粒の小さな種なしぶどうだけでしたが、今では20種類以上のぶどうを栽培しています。1年を通していつでもいろいろなぶどうを楽しんでもらえるよう、少しずつ栽培する品種を増やしてきたのです。今でこそぶどうの産地として知られる東浦町ですが、私の曽祖父がこの農園を始めた頃は、販売にも苦労したそうです。名古屋の百貨店にブースをつくってもらって出品するなど、地道な販売活動を通してしたいにみなさんに知って

も与えるようになったと聞いています。大変な思いをしながら産地としての東浦と自分の農園を大きくしてきたひいおじいさんの思いがつまった、ぶどうづくりという仕事。大変なこともありますが、しっかり続けていきたいです。



◆業 種:農業

◆おもな生産品目:ぶどう(巨峰、シャインマスカット

ゴルビーなど)

◆創 業:1950年

◆住 所:東浦町大字森岡字一ツ池1-92

マメ知識、教えます!



ぶどうの色は、黒・赤・白の3つに分けられます。黒 系は巨峰など、皮の色が濃い品種。赤系はデラウェ アやクイーンニーナ。白系はシャインマスカットな ど黄緑色のぶどうです。「白ワイン」は、白系のぶど うからつくられるから、そう呼ばれるんですね。



実は、こんなにすごいんです!

石田農園でつくっているぶどうの種類は20以上。 いつも黒・赤・白の3系統を用意できるようにしています。スーパーなどではあまり手に入らない品種も 栽培しているんですよ。





東浦は、はたらきやすい町?



先輩のぶどう農家さんたちがたくさんいて、いろいろな面で助けてくれるので、私にとってはとても働きやすい町です。みんなの話を聞いたほうが、より良いぶどうづくりができますからね。



先輩からキミへ



仕事の基本は、人を助けたりよろこばせたりすること。誰かのためになることなら、どんなことも仕事になると思います。私は畑にいる時も、どうしたらお客さんがよろこぶかを考えなから仕事をしています。



循環型農業の力ギは 家畜の飼料づくり

有限会社あくりサービスは、地域の農地の担い手としてつくられた会社です。後継者がいなくて余ってしまう農地を引き受け、最初はおもに米、麦、大豆などを生産していました。しかし、東浦町のある知多半島は畜産業がさかんな地域。牛や豚、にわとりなどを育てる畜産農家さんたちのニーズをほりおこし、稲を原料にしたホールクロップサイレージ、とうもろこしが原料のデントコーンサイレージといった飼料を生産するようになりました。さらに、それらを食べた牛たちのフンを堆肥化した

ものを農家さんから買って、自社の田んぼや畑の肥料に。資源を地域で循環させ、持続可能な農業モデルをつくりました。やりがいを感じるのは、たくさん作物がとれた時。それが農業のだいご味です。



▶業 種:農業

◆おもな事業:米の生産(コシヒカリ、ミルキー

クイーン、あいちのかおり)、いちごの 生産、米検査、飼料用作物の生産など

◆創 業: 1998年6月

◆住 所:東浦町大字石浜字蛇子連70-6

実は、こんなにすごいんです!



私たちの田畑でつくった作物を原料にした飼料を家畜が食べ、そのフンからつくられた堆肥を、また田畑へ。この好循環を地域で実現したことが評価され、第50回日本農業賞個人経営の部大賞を受賞しました。



会社のターニングポイント



転作をくりかえし、米、麦、大豆などの収穫量がへるなか、デントコーンなどの飼料にシフトしたこと。さらに機械化することで生産量が増え、東浦以外にもお客さんを広げられました。



やる気のみなもと



仲間たち。土やホコリでまっくろになりながらも、それすら楽しんで自分の仕事に一生けんめい取り組む人たちにかこまれて、いい刺激を受けています。



先輩からキミへ



食料自給率の低いこれからの日本を守るのは農業。みんながもっと興味を持ち、地域でつくられた農産物をたくさん食べてくれると、より注目される仕事になると思います。



と、、、、農業はSDGsそのもの 日本の農業、食文化を もりあげたい

東浦町の特産品がぶどうであることは、地元のみなさんならよく知っていますよね?もともと東浦では、みかんの栽培がさかんだったそうです。でも今から50年ほど前、新しい特産品をつくろうと私の祖父と仲間たちが始めたのが、ぶどうの栽培。以来、ふさが大きく甘みも強い巨峰づくりを通し、東浦の町をぶどうの産地として育ててきました。私は9年前、この世界に入り、祖父のもとでぶどう栽培を学んで事業を引き継ぎました。そして4年前から新たに「林ぶどう園」として、巨峰はもちろん新し

い品種の栽培、ぶどう加工品の 生産・販売、観光農園の運営、 YouTubeでの情報発信などを おこなっています。さらに、環境 にやさしい資材選びや再利用に ついても取り組んでいきます。農 業はSDGsそのものですから。



業 種:農業

◆主な生産品目: ぶどう、ぶどうを使用した加工品 (ドライフルーツ、シロップ、ジュース)

◆創業:1975年

◆住 所:東浦町大字緒川字引蛙7-48

実は、こんなにすごいんです!



東浦の巨峰の特徴は種があることです。種なしで皮 ごと食べられるぶどうが主流になりつつある今、種あ りぶどうは貴重な存在。しかも栽培が難しいんです。 つまり、東浦のぶどう農家はみんな高い技術を持っ ているということ。それに、同じ糖度でも、よりうま みを感じるのは、種なしより種ありの方なんですよ。



仕事のたのしさ



ぶどうには、生産者の個性が出るものです。ぶどうは、一粒一粒が集まって"ふさ"をつくりますよね? 粒の大きさや色、つらなり具合によって、ふさの形も決まります。そこが、作り手の腕の見せどころ。生産物を通して自分を表現できることに、面白さとやりがいを感じます。

1

新しい挑単



YouTube「林ぶどう園チャンネル」で、農家の日常やぶどうの栽培法などを発信しています。見てくれた人から反応があったり、逆にこちらが教えてもらったり、ずっと畑にいるだけでは得られなかった、新しい発見がたくさんあります。



**

先輩からキミへ



「好きなことで生きていく」。よく言われる言葉ですが、これはまちがいないことだと思います。いろんなことに挑戦する中で、いやなことがあっても、それには必ず意味があるはず。その先によろこびや楽しみが待っていることを信じて、自分の好きなことを見つけてください。



編集・発行 東浦町産業まつり推進協議会 (東浦町・東浦町商工会・あいち知多農業協同組合)